

ほうじょう あやね
北條 綾音さん イスパニア学科 4年生 (2020年入学)

留学先機関名：スペイン／ログローニョ ラ・リオハ大学

留学期間：2023年1月～ 2023年3月



留学体験談



授業最終日にクラスのみんなど

留学生活の環境は？

ログローニョがマドリッドから北にバスで4時間という場所に位置しているため、留学前は不便なのかなと思っていましたが、徒歩圏内に飲食店やスーパーマーケット、ショッピングセンターがあり、暮らしやすい都市でした。旧市街も周辺にあり、見るたびに日本とは違う歴史を感じてとても好きな場所でした。



旧市街

留学の目的・留学を通して得られたことは？

留学の目的は、①本学の授業で基礎から学習したスペイン語を、現地で多国籍の学生と共にアウトプットを中心に学ぶこと②日本から海外にも展開している企業への就職を視野に入れているため、卒業前に日本で生活するだけでは知り得ないような社会や文化、制度に関する日本と外国との違いを知ること、でした。



大学の外観



寮の食事

一番の思い出は？

ログローニョでの最終日に、中国人の友人たちが火鍋パーティーをして送別会を開いてくれたことです。私が火鍋を食べてみたいと言っていたことを友人が覚えてくれていて、その火鍋を囲んでスペイン語で色々な話をすることがとても思い出に残っています。



送別会の火鍋パーティー

留学して変わったことは？

日本でしか生活したことのなかった私にとって、日本での当たり前が世界の当たり前ではないということを実感しました。スペインでの暮らしや多国籍のクラスメイトとの交流から学びました。

留学は、現地のことだけではなく、海外の人から見た日本の印象や、自分の日本の好きなお店・改善したらいいなと思うところなどに気付くことができる貴重な経験になりました。

夢・目標は？

スペインに行っても日本の製品を見る機会が多くあり、日本の優れた製品を海外に届けたいという思いが留学を通して強くなりました。留学中に取り組んでいた就職活動の結果、国内外に展開しているメーカーへの就職が決まったため、卒業後しばらくはそこの思いを実現したいと考えています。



留学先を選んだ理由は？

他大学と比較した留学費用の手頃さと、先輩の体験談からラ・リオハ大学ならではの「料理やワイン」について学ぶ授業や、「スペインのビジネス」について学ぶ授業があると知り、日本ではなかなか体験できないような授業を受けてみたいと思ったからです。(しかし、残念ながら新型コロナウイルス流行後、料理・ワインの授業は開講されていませんでした。)



見学に行ったワイナリー

留学先の大学のよいところ



友人たちと行ったジム

大学の先生や職員の方々がとてもフレンドリーだったことです。「寮の生活はどう？」などと気さくに話しかけてくださり、途中でクラスを変更した際にも、私がクラスに馴染めるような雰囲気を作ってくださいました。とても感謝しています。

国際交流センターからのお知らせ

- 10月25日 (水曜)
セゴビア春季短期派遣留学 募集説明会
- 10月25日 (水曜)
キルギス春季短期派遣留学 募集説明会
- 11月6日 (月曜)～ 11月10日 (金曜)
2024年派遣 荻野スカラシップ募集期間
- 11月13日 (月曜)～ 11月17日 (金曜)
2023年派遣 認定留学募集期間
- 11月15日 (水曜)
モスクワ (オンライン) 春季短期派遣留学 募集説明会